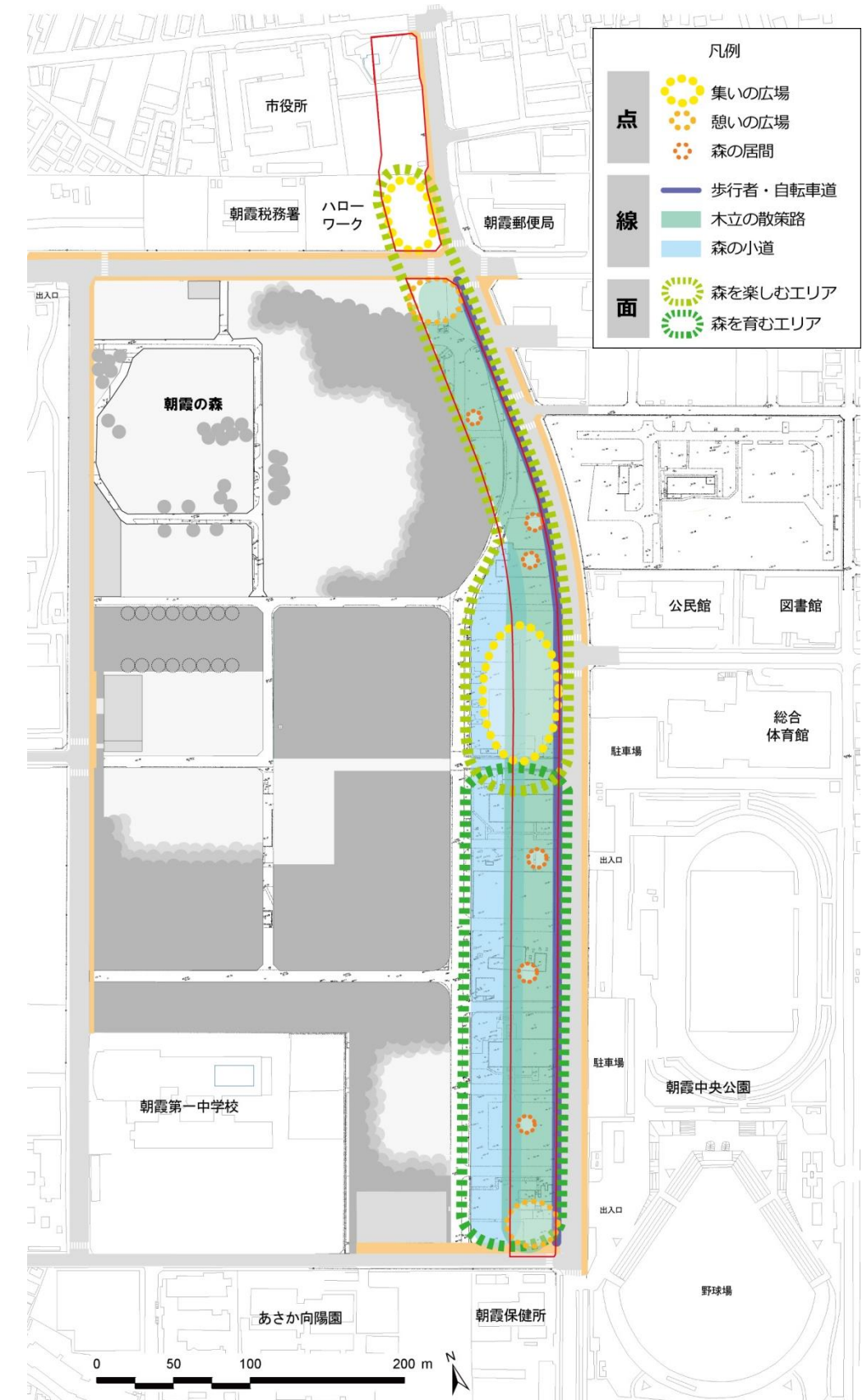


1. 空間構成要素の考え方

要素	空間の整備・活用イメージ			配置
点※	集いの広場 (大きな拠点) ・彩夏祭をはじめ、音楽、アート、市(いち)など、様々なイベントの場となる広場 	憩いの広場 (中くらいの拠点) ・ストリートライブや、キッチンカーの周りの小さなカフェなど、日常の交流の場となる広場 	森の居間 (小さな拠点) ・一人で読書、家族や友人との団らん、花や紅葉の鑑賞などができる滞留空間  <small>写真出典：東武トレジャーガーデンHP</small>	
	歩行者自転車道 ・移動を重視した自転車通行帯(幅2m程度)と歩行空間(幅5m程度)  <small>写真出典：国交省HP</small>	木立の散策路 ・木立の中をゆったりと歩いたり、ジョギングやウォーキングを楽しむ歩行空間 	森の小道 ・落ち葉をさくさくと踏みしめながら歩ける森の中の小道 	
線	森を楽しむエリア ・林内のところどころで、休憩や団らんを楽しむことのできる明るい樹林地を形成していくエリア  <small>写真出典：和光樹林公園HP</small>		森を育むエリア ・必要な管理の手を加えつつ、緑豊かな樹林を保全、育成するエリア ・建物跡地で樹木のほとんどない空間については、使いながら育てていく 	
	面			

※点の要素のスケール、イメージ例は p.2 参照

2. 空間構成要素の配置イメージ



◆「点」の要素のスケール、イメージ例

集いの広場

(大きな拠点)

マルシェで買い物 (2,000 m²~)



(参考事例) 月島第二児童公園「太陽のマルシェ」
(日本最大級規模の定期開催型マルシェ; 約 100 店舗出店)
写真出典: 日経トレンディHP

ライブを楽しむ (約 600 m²~)



(参考事例) ジャズのタベ

スケートボード等のニュースポーツ
(約 800 m²~)



(参考事例) 神戸市みなとのもり公園「ニュースポーツ広場」
※1 コート約 800~1,000 m²程度
写真出典: 三ノ宮南地域・都心の新たなにぎわい事業実行委員会HP

憩いの広場

(中くらいの拠点)

ゆったりおしゃべりに食を楽しむ (1ブース 2×7m~)



(参考事例) 池袋グリーン大通り「グリーンブルバールマーケット」
写真出典: Knit Green 実行委員会HP

キッチンカー<普通サイズ2台>で
ランチ (約 50~100 m²)



(参考事例) 新宿中央通り
「シェアラウンジ」

音楽や大道芸等のパフォーマン
スを楽しむ (約 50~100 m²)



(参考事例) 東京都「ヘブンアーティスト」
写真出典: 東京都HP

鬼ごっこや缶けりで遊ぶ
(約 300 m²~)



(参考事例) スポーツ鬼ごっこ
※7人制のフィールド約 15m×25m
写真出典: canpan ニュースHP

青空の下で読書する
(約 100 m²~)



(参考事例) 神戸市東遊園地
「アウトドアライブラリー」
写真出典: アーバンピクニックHP

森の居間

(小さな拠点)

四季の花を楽しむ (10 m²~)



(参考事例) 狭山・境緑道の花壇・樹木
(初夏のアジサイ、夏の花壇、秋の紅葉など)
写真出典: 狭山・境緑道オフィシャルブログ

鳥や虫と出会う (5 m²~)



(参考事例) 川崎市多摩美の森 森の観察会
写真出典: 川崎市HP

ハンモックで森林浴 (5 m²~)



(参考事例) 「ハンモックシエスタ」
写真出典: 長野県朝日村HP

友人・知人と語らう (6 m²~)



(参考事例) 横浜市旭高校-川井特別緑地保
全地区境界部道路「間伐材ウッドデッキ」
写真出典: 横浜市HP

ベンチでくつろぐ (2 m²~)



(参考事例) 河内長野市-観心寺境内
「切り株のベンチ」
写真出典: 河内長野市HP